

# 甲子園をホームゲームに

全校生徒の前で踊るチア部員たち



まず、最初に伊藤公英先生は「ホームの試合では地元ファンの大声援に影響され、審判の判定をも変えてしまう。応援の力で甲子園をホームゲームにしてほしいです。1年から3年まで84人が1つとなり、すばらしい応援をしてほしい。また、応援団賞が最優秀賞1校、優秀賞5校にももらえるので、やるからにはやってほしいと思います。また応援には4つの柱があります。吹奏楽は彦根西中学校、東中学校から助っ人を頼み100人規模で応援する予定です。チア16人

**初の全校練習行われる**

3月17日、午前中体育館で初めての全校練習が行われた。3500枚あったアルプス席のチケットは現在残り100枚となった。生徒達は応援団たちを中心に応援練習を行った。



## キマグレ

速報新聞  
発行所

彦根東高等学校

### 新聞部

彦根市金亀町4番7号

応援のやり方を説明する応援団



曲を演奏する吹奏楽部員たち



バスケット部15人陸上部8人の合計39人で1日自主練を含め4時間多いときには8時間練習をして元気・笑顔・勇気をモットーに練習しています。

またリーダーの野球部5人と生徒会5人は大学の応援団

の指導を受け、練習をしました。この10人に全てがかかっています。本番はミスは必ず生まれますが、ミスしてもへこまず、引きずらないようにして次のプレーに切り変えてほしいです」と話された。

またそのあと吉田昌貢先生から試合当日の説明があり、「プラス・チアを除いた生徒はホームラン号で行きます。時間はまだ、決定していませんが、10時頃を予定しています。停車駅は米原・彦根・河瀬・稲枝・能登川・近江八幡・草津・大津で、改札で整理券を見せて乗って下さい。そして、大阪駅で降りて阪神電車に乗り換え、甲子園口で降り、甲子園へ行きます。生徒には24日に整理券と帽子・ウィンドブレーカー・メガホンなどのグッズを渡します。当日は時間を間違えないように行動して下さい」と話して下さった。その後、彦根七職家の方が作って下さった野球のバットを寄贈された。そして、応援のやり方に関してスクリーンで説明が行われ、その後、応援団長の永福君を中心に練習が行われた。